

# 「代田の街づくり学習会」今後の開催予定です！

## 学習会について

- 代田1～6丁目の在住・在学・在勤の方は、どなたでもご参加できます。
- 事前の申込は不要です。当日会場で受付します。(受付は20分前より)
- 全部の回にご参加できなくても、関心のあるテーマの回にご参加できます。

現地見学会に参加希望の方は、事前の学習会にご参加されるか、前日までに街づくり課に電話にてお申込みください。

【申込先】  
世田谷区北沢総合支所街づくり課  
電話：03-5478-8031

第1回 **開催済** 《代田のまちづくりの現状と課題》  
平成25年11月6日(水)午後6時～8時 代田小学校/11月16日(土)午前10時～正午 新代田まちづくりセンター

第2回 **開催済** 《防災街づくりの考え方と方法》  
平成25年12月4日(水)午後6時～8時 代田小学校

## 第3回

《テーマ》街づくりの実際例を学ぶ  
平成26年1月22日(水)午後6時～8時  
代田小学校1階図書室(代田4-2-3)

市民参加による街づくりの歴史や制度について学び、街づくりの先事例について学習します。

## 現地見学会

平成26年1月25日(土)午後1時30分～4時  
太子堂出張所前集合(太子堂2-17-1)  
\*三軒茶屋駅より徒歩4分

区内の代表的な街づくりの事例として、太子堂2・3丁目地区を実際に見学し、地域の街づくりに携わった方からお話を伺う予定です。

## 第4回

《テーマ》代田での街づくりの目標と進め方  
平成26年2月19日(水)午後6時～8時  
代田小学校1階図書室(代田4-2-3)

第1～3回の成果を踏まえ、代田地域における今後の街づくりの目標や具体的な進め方等について話し合います。

学習会の成果を活かし、町会・自治会など地域で活動する団体のみなさまのご意見も踏まえ、平成26年度からは街づくりの具体的な推進をめざします。

学習会や地域のみなさまからのご意見を踏まえ、世田谷区から街づくりの具体的な進め方を提案します。

## 街づくりの進め方の提案

平成26年5月以降  
**街づくりの推進**

「街づくり協議会」等必要な組織の発足など、区と地域住民の協力によって街づくりを進めていきます。

## 街づくりトピック 小田急線上部利用の施設配置(ゾーニング構想)がまとまりました。

世田谷区では、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)連続立体交差事業および複々線化事業による鉄道地下化に伴い生じる線路跡地の利用(以下「上部利用」という)について検討を進めてきました。

このたび、東京都、小田急電鉄との協議・調整をふまえ、小田急線上部利用の施設配置(ゾーニング構想)がまとまりました。

くわしくは、「小田急線上部利用通信No.9」にてお知らせしていますのでご覧ください。小田急線上部利用通信は、世田谷区役所生活拠点整備担当部拠点整備第一課(世田谷区役所第三庁舎2階)、北沢総合支所街づくり課(北沢タウンホール6階)の窓口で配布しています。または、世田谷区公式ホームページの下記アドレスからご覧になれます。



小田急線上部利用通信 <http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/345/347/d00018986.html>  
トップページ>くらしのガイド>住まい・街づくり・交通>街づくり  
>北沢総合支所管内の街づくり>下北沢駅周辺地区街づくり>小田急線上部利用通信

# 世田谷 代田

# 駅周辺

# まちづくりニュース No.9

平成26年1月発行



世田谷区北沢総合支所街づくり課

## 「代田の街づくり学習会」を開催しています。

世田谷区では、代田地域の街づくりを考えるきっかけとして、平成25年11月から全4回の予定で「代田の街づくり学習会」を開催しています。(日程等は、8ページをご覧ください。)地域のみなさまにご参加をいただき、これまでに2回の学習会を開催しました。

### 第1回 11月6日(水)代田小学校 / 11月16日(土)新代田まちづくりセンター

- 世田谷区が昨年度に行った代田地域の街づくり基礎調査を基に「代田地域のまちづくりの現状と課題」について、調査を受託した有限会社大戸まちづくり研究所 大戸 徹氏より報告を行いました。その後、参加者は3つのグループに分かれ、代田地域のまちづくりの課題に関して、意見交換を行いました。
- 第1回学習会にて報告した内容は、2～7ページに再編集して掲載しましたので、ぜひご一読ください。



第1回学習会(11月6日)の様子

### 第2回 12月4日(水)代田小学校

- 最初に、都市計画を専門にしてきた羽根木在住の渡辺俊一氏(東京理科大学嘱託教授)より「まちづくりと住民の役割」と題して講演いただきました。
- 次に「防災街づくりの考え方と方法」をテーマに、防災街づくりの基本的考え方、実際の進め方などについて、事例を挙げた講義を聞いていただいた後、実際に代田の防災街づくりについて、参加者間で意見交換を行いました。

「代田の街づくり学習会」の各回の資料等は、開催後3週間後をめどに北沢総合支所街づくり課にて閲覧できるとともに、世田谷区公式ホームページの下記アドレスからご覧になれます。



<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/345/347/d00129071.html>

トップページ>くらしのガイド>住まい・街づくり・交通>街づくり  
>北沢総合支所管内の街づくり>代田の街づくり学習会

## 街づくりアンケートにご協力下さい(代田1・3・4・6丁目を対象)

世田谷区では、街づくり学習会と並行して、広く街づくりに関する地域のみなさまの声を聞き取るため、アンケート調査を実施いたします。平成23年度にアンケート調査を実施している代田2・5丁目を除く、代田1・3・4・6丁目のみなさまには、このニュースとともに「代田の街づくりに関するアンケート調査のお願い」(質問票と回答ハガキ)を配布しております。ご回答にご協力をお願いいたします。(回答期限は、1月31日(金)となっております。)

【お問合せ先】

世田谷区北沢総合支所街づくり課

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール6階  
電話：03-5478-8031 FAX：03-5478-8019

# 代田地域の成り立ち

## 戦国時代～明治

代田地域は、戦国時代末期、小田原の北条氏の滅亡（1590年）に伴った世田谷吉良家の没落後、その旧家臣の七人衆が帰農し、現在の代田1～3丁目付近を開墾したのが始まりと伝えられています。江戸時代には、代田村は天領となり（1695年）、幕末まで幕府代官の支配下に置かれました。明治11年（1869年）郡制により東京都荏原郡代田村になり、後に明治22年（1889年）に近在8村が合併して、東京都荏原郡世田ヶ谷村（後に世田谷町）大字代田となりました。

## 昭和～現代

昭和7年（1932年）東京市の区域が15区から35区に拡張された際、世田谷町は新たに成立した世田谷区に編入されました。

地域の大部分が長らく農地でしたが、大正12年の関東大震災以降、鉄道の開通と共に近郊住宅地に変遷する中、土地区画（耕地）整理・指定建築線制度などを活用した街づくりが実施されました。

現在の代田1・2・3・4丁目地内には、こうした経緯である程度整った道路網と街区が形成されています。

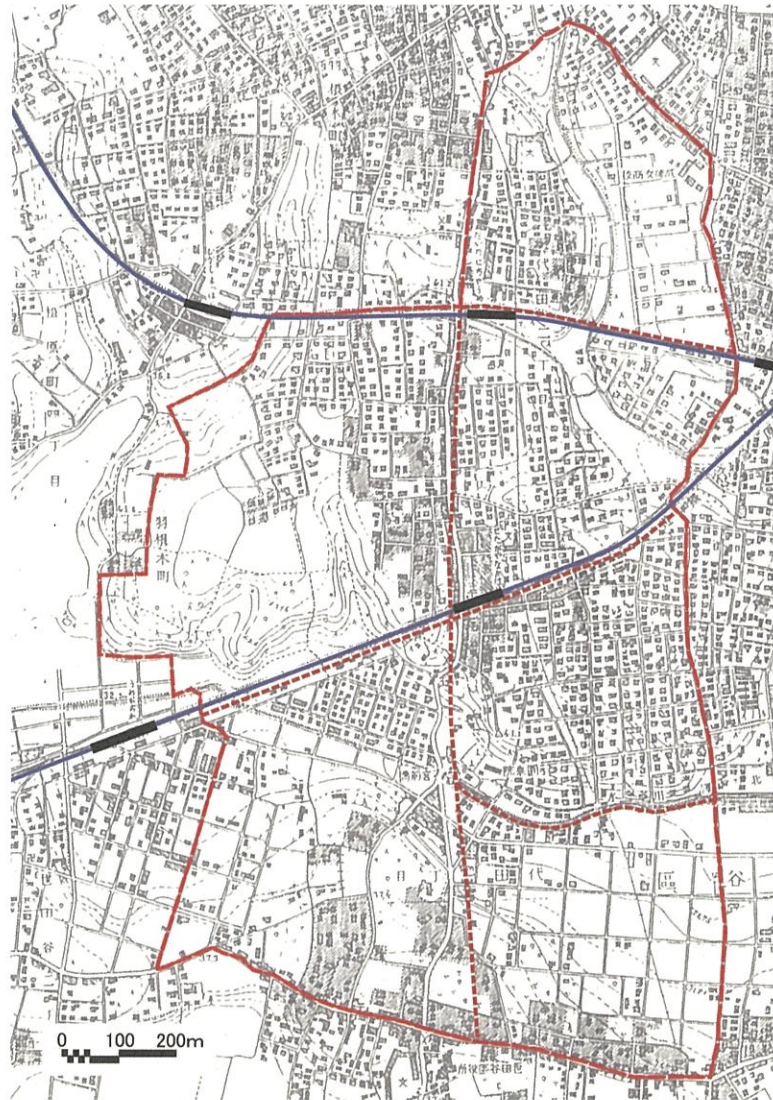
### 地名の由来は…「ダイタラボッチ伝説」?!

「代田」という地名の起源でもっとも有力な説は、代田6丁目の守山小学校付近に大きな足跡に似た沼地があり、それが想像上の巨人「ダイタラボッチ」の足跡との言い伝えに由来するものと言われています。

### 【代田地域の成り立ちに関わる主な出来事】

- 昭和2年 小田急線開通、世田谷代田駅（当時は「世田谷中原駅」）開設 ※改称は昭和12年
- 昭和5年 代田第二耕地整理組合設立（現代田1・3丁目、梅丘1丁目地内）施行面積39町歩≒39.3ha
- 昭和8年 井の頭線開通、新代田駅（当時は「代田二丁目駅」）開設※改称は昭和41年
- 昭和8年 指定建築線「羽根木町・代田2丁目（現代田4丁目地内）・松原町4丁目」（環状七号線西側、井の頭線予定地を含む区画整理型の建築線指定による街づくり）
- 昭和39年 住居表示の実施（代田1～6丁目/昭和39.9.15）、東京オリンピック開催に合わせて、環状七号線（中原街道～中山道間）の開通
- 平成16年 小田急線連続立体交差事業及び複数線化事業に着手（代々木上原～梅ヶ丘間）
- 平成25年 小田急線地下線への切替・世田谷代田駅ホームの地下化・踏切の廃止（平成25.3.23）

【昭和14年（1939年）頃の代田地域】



平成4年3月世田谷区発行世田谷古地図より抜粋

# 代田地域の街づくりの課題図（まとめ）

代田地域の街づくりを検討するにあたり、ご紹介した街づくりの現況や課題と、過去に行ったアンケートやヒアリング調査などで地域のみならずご指摘を受けている箇所を、地図上にまとめました。



# 代田地域の街づくりの課題

## 防災上の課題

### ① 消防活動困難区域の解消

都市防災上の基準のひとつに、消防車の進入が可能で路上で容易に活動できる幅員6m以上の道路から、200mのホース延長で到達可能な概ね140mの範囲を消防活動に支障が無い範囲と考え、それ以外遠の区域を「消防活動困難区域」とする目安があります。

その基準で見ると、代田地域は、2・5・6丁目には幅員6m以上の道路がほとんどなく、消防活動困難区域が中央部分に広がっています。

対照的に1・3丁目は、4m未満の狭い道路が多い区域もありますが、消防活動困難区域はほとんど見られません。

### ② 防災の拠点としての公園の充実

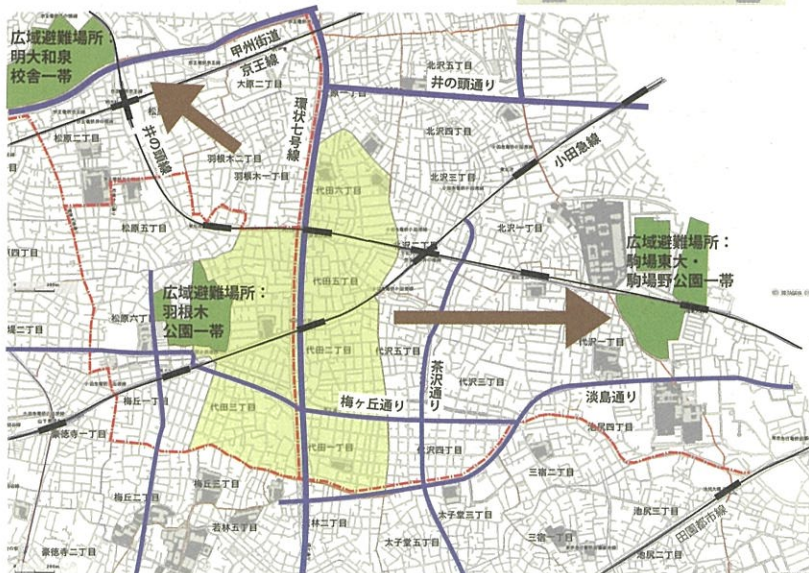
公園・広場は、震災時の避難・救護活動、消防活動の拠点、緑化による延焼防止など多様な効果を持つ拠点です。環七の東側の区域では全般に公園が不足しており、特に5・6丁目は充実すべき区域も広がっています。

### ③ 建築物の不燃化など延焼防止対策

古い木造住宅が密集する区域（耐震上問題が多いとされる「昭和56年（1981年）以前の古い耐震基準で建てられた木造建物の割合」が40%以上の区域）が、1・3・5・6丁目に存在しており、燃えにくい建物や、耐震化の推進も課題となります。

### 広域避難場所の指定

震災時の火災延焼などにより、自宅や一時集合所（学校・公園等）が危険な状況になった場合は、区内外に2箇所指定してある広域避難場所（大規模空地）に避難します。代田3・4丁目は「羽根木公園一帯」が避難先に指定されていますが、環七の内側の代田1・2・5・6丁目は「駒場東大・駒場野公園一帯」が避難先になっています。〔世田谷区地域防災計画より〕



## 道路・交通の課題

### ① 主要な生活道路の課題

地区内から他の地区に連絡する主要な道路に、鎌倉通り、梅丘通り、赤堤通りなどがありますが、幅員が狭いため歩道が設けられない区間が大部分です。車両の交通量も多く、歩行者・自転車が安心して通行できない状況です。

### ② 生活道路の課題

建築基準法上の最低幅となる4m幅員の道路は小型車（幅1.7m）がぎりぎりにすれ違い可能ですが、その際は歩行者や自転車の通行ができません。車両速度の抑制など歩車共存の交通安全対策が必要です。

### ③ 世田谷代田駅前周辺の交通対策

小田急線の踏切廃止後の環七・赤堤通りからの車両の流入に対し、駅周辺の歩行者や通学路の安全を確保するため、信号機の設置、歩道の充実、車両の進行方向の規制などの対策が求められています。

【道路・交通の課題図】



## 住環境に関わる課題

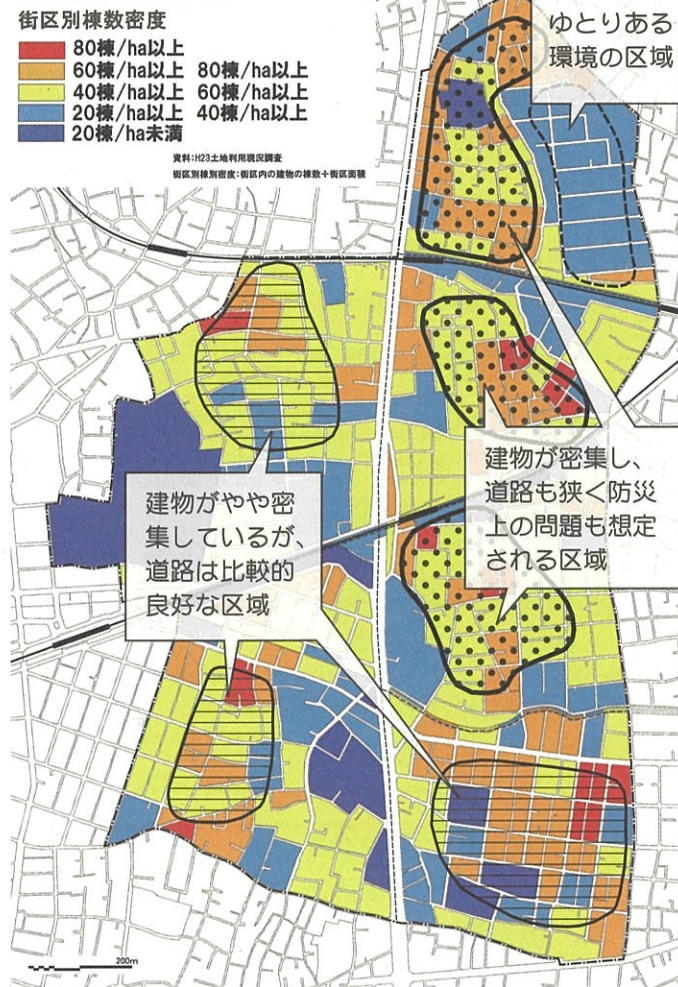
### ① 宅地の細分化に対する対策

徐々にではありますが、宅地の細分化・建て込みが進行しています。宅地が細分化し、小規模な木造住宅が密集することにより、住宅の採光条件が悪くなります。さらに、延焼の危険性が高まり、防災上の問題を顕在化させます。宅地の細分化に何らかの対策が必要となっています。

### ② 住宅密集区域の防災街づくり

幅員 4m 未満の道路では、震災時に耐震性のない建物やブロック塀等が道路上に倒壊し、道路が閉塞されることにより、避難路として通行できない危険性があります。建物の不燃化と共に狭い道路の拡幅や建物・塀の耐震化など、防災街づくりの取り組みも必要です。

### 【住環境の課題図】



## 公園・広場に関わる課題

### ① 代田 5・6 丁目を中心に

#### 公園・広場の整備

幼児や高齢者の足で 5 分程度の距離 250m で公園利用圏を想定すると、環七の東側の 5・6 丁目では利用不便区域が比較的大きく広がっています。

記号の種類  
水道 トイレ 防火貯水槽 マンホールトイレ

公園・広場の名称	面積	開設年度	主な設備
羽根木公園	79,651㎡	S31年10月	水道、トイレ、防火貯水槽、マンホールトイレ
代田南広場	329㎡	S49年3月	防火貯水槽
代田 2-14 遊び場	245㎡	H7年4月	防火貯水槽
代田広場	514㎡	S28年3月	防火貯水槽
すみれ公園	457㎡	H8年3月	防火貯水槽、マンホールトイレ
ひだまり公園	843㎡	H14年3月	水道、トイレ、防火貯水槽
代田 5 丁目公園	413㎡	H3年3月	水道、トイレ、防火貯水槽
代田北広場	521㎡	S49年3月	水道、トイレ

### 【公園・広場の課題図】



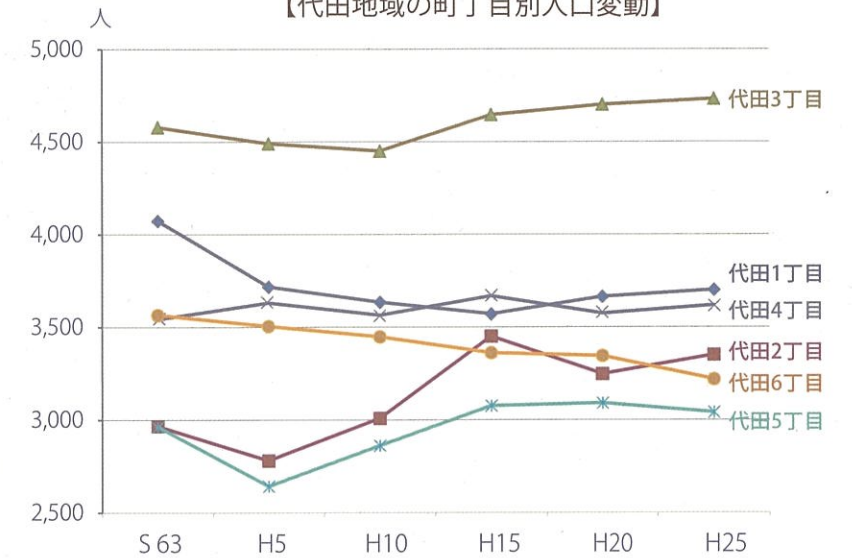
## 代田地域の現況 (基礎データ)

### 人口・世帯

代田 1・3・6 丁目では昭和 63 年～平成 10 年にかけて人口は減少していますが、代田 2・5 丁目では平成 5 年～15 年にかけて大きく増加するなど、町丁目によって変動が異なります。平成 15 年以降のこの 10 年では地域全体として人口は安定しています。

世帯数についてはあまり変動しておらず、平成 15 年～25 年まで北沢地域全体では 5.3% 世帯数が増加したのに対し、代田地域全体では 3.2% の増加にとどまっています。

【代田地域の町丁目別人口変動】



資料：住民基本台帳 (各年 1 月 1 日 ※平成 25 年のみ 2 月 1 日)

### 建物や道路

建物については、棟数密度や戸数密度が代田 5・6 丁目で高く、老朽住宅の割合も高くなっています。道路については、2・5・6 丁目は道路率が低く、狭い道路が多いことを示しています。

	代田 1 丁目	代田 2 丁目	代田 3 丁目	代田 4 丁目	代田 5 丁目	代田 6 丁目	代田地域計	世田谷区計	備考
面積 ( )は羽根木公園面積除外	200,016	198,759	288,667	294,264 (224,982)	181,870	196,314	1,359,890	58,084,000	世田谷区資料
人口	3,702	3,351	4,733	3,618	3,040	3,219	21,663	860,883	平成 25 年 2 月 1 日 住民基本台帳
世帯数	2,118	1,893	2,679	2,083	1,819	1,994	12,586	448,000	
人口密度 ( )は羽根木公園面積除外	185.0	168.6	164.0	123.0 (160.8)	167.2	164.0	159.3	148.2	
65 歳以上人口比率 %	17.6	20.1	17.4	21.8	17.8	19.6	19.0	19.0	
14 歳未満人口比率 %	9.5	8.9	9.5	7.9	6.8	7.1	8.4	11.4	平成 23 年 土地利用現況調査
20 歳代人口比率 %	17.1	16.8	15.8	15.5	18.0	19.0	16.9	12.5	
建物総棟数	803	799	1,023	863	792	818	5,098	171,642	
棟数密度 ( )は羽根木公園面積除外	40.2	40.2	35.4	29.4 (38.4)	43.5	41.7	37.5	29.6	
住宅総戸数	2,283	1,968	3,114	2,387	2,008	2,200	13,960	465,513	
住宅戸数密度 ( )は羽根木公園面積除外	119.2	98.9	107.8	81.2 (106.1)	110.3	112.2	103.4	80.1	
老朽建物棟数割合 %	64.5	56.8	64.1	62.2	64.9	68.5	63.5	-	
道路面積の割合 ( )は羽根木公園面積除外	21.0	14.2	21.1	15.1 (19.7)	14.5	14.7	17.0	17.3	

※老朽建物：概ね法定耐用年数\*の 2/3 以上を経過した建物

\* [主な住宅用建物の法定耐用年数] 木造モルタル造 20 年、木造 22 年、軽量鉄骨造 27 年、重量鉄骨造 34 年、鉄筋コンクリート造 47 年